



●書く・読む・思う

この欄は月の最終日曜日(今月は二十九日付)と決まっているのだが、日本シリーズがズレ込むと思っつきょうまで延期していた。

その深謀遠慮はまったくはずれ中日ドラゴンズは早々と敗退、いささか気の抜けた執筆と相なった。

圧倒的優勢といわれながら、日本ハムに1勝4敗。完敗である。私にはなぜか陽気なアメリカ軍とまじりを決した帝国陸軍の戦いに見えた。「シンジラレナイ」の気楽さが「勝たね

ばならぬ」の緊張を圧倒し、戦いは、強か弱かだけでは決まらない。明か暗か、柔か剛か、善か悪か。実力の外側にある目に見えぬ力を、私たちドラファンは知らされたと思っ。

10月を送る

中日新聞常務・編集担当 小出宣昭

龍の思想とドラゴンズ

ドラゴンズの「竜」は、古代中国の架空の動物であり、本来は「龍」と書く。空を翔け、雲を呼び、慈雨を降らせて万物の命を育む君子の象徴とされる。だから龍徳という言葉がある。

慈雨の心、品性、人間性を伴った力の総称だ。この偉大な龍は、時とともに変化、成長していくことが中国の古典「易経」に記されている。その意味を易経研究家の竹村垂希子さん(名古屋在住)の解釈に沿ってたどってみよう。

第一段階は「潜龍」という。世に認められず、深い水底にじっと潜む龍だ。焦

らず、動かず、高い志を抱いて、いつの日か天空を飛翔する時を待つ。岐阜の長良川畔に同じ名前の料亭があるところが素晴らしい。「確固としてそれ(志)抜くべからざるは潜龍なり」。確固不拔の志と

の言葉は、ここから出た。出会いにより龍の目が開かれるときだ。

第二段階は「見龍」である。水底でエネルギーを蓄えた龍は、やがて水面や地上に姿を現す。そこで龍は時の流れとは何か、世の現実に対処する原理原則とは何かを学ぶ。優れた人を「見て学ぶ」から見龍なのだ。出会いにより龍の目が

開かれるときだ。第三段階は「君子終日乾乾」。学んだ道を朝から晩まで反復し、体で覚えていく時期である。竹村さんは「アマチュアからプロ、単なる経験者から専門家への変わり目」という。第四段階が「躍龍」である。出会いにより龍の目が

開かれるときだ。第五段階が「飛龍」である。ついに天空に舞い上がった龍は、次々に雲を従え雨を降らす。「飛龍天にあり、大人を見るに利ろし」と古典はいう。悠々と空を飛ぶ龍は、大人のように世の人々を慈しむ。龍徳とい

ふ志の実現である。ドラゴンズはいま、どの龍だろう。ナゴヤドームができて十年。初年度は最下位。広い球場で勝てる野球を志し、長い「潜龍」の後、落合監督との出会いで学び、鍛える「見龍」や「乾

乾」の時へ。そして今年はず「躍龍」だった。来年こそは目に見えない力を身につけて、龍徳あふれる堂々の「飛龍」になってほしい。

お断り「中部の文芸」は休みました。

10月の主なニュース

- <1日>愛媛県警は生体腎移植をめぐる臓器売買法違反の疑いで2人を逮捕
- <3日>中部一の超高層ビル・ミッドランドスクエアのオフィス棟完成*最高裁が報道関係者の取材源秘匿を認める
- <4日>参院定数訴訟で格差5・13倍は合憲と最高裁
- <8日>安倍首相が訪中
- <9日>北朝鮮が核実験
- <10日>プロ野球セ・リーグで、中日が優勝
- <12日>プロ野球パ・リーグで、日ハムが優勝
- <14日>国連安保理が北朝鮮制裁決議を採択*祖母が娘夫婦の子を代理出産したと判明
- <19日>凱旋門賞3位のディープインパクトから薬物
- <22日>安倍政権初の国政選挙になった2衆院補選で自民勝つ
- <23日>東京地検が福島県前知事を収賄容疑で逮捕
- <24日>富山県の高校で必修科目の授業をしなかったことが発覚。全国に広がる
- <26日>プロ野球日本一に日ハム
- <29日>岐阜県瑞浪市で起きた中2少女の自殺はいじめ。学校側は否定

万葉のこころ

高市黒人の旅の歌。「住吉の得名津に立つて見渡すと、武庫の湊から舟を漕ぎ出す舟人が見える」。「得名津」は大和市住之江区南部から大阪府堺市堺区の一帯か。「武庫の泊まり」は兵庫の武庫川河口の船着き場。「得名津」からは大阪湾を隔てて対岸に見える。直線距離で約十八*あり、いくら視力が良くても舟人は見えまい。文学的虚構だろう。

住吉の得名津に立ちて見たせば武庫の泊まりゆ出づる舟人 (巻三・二八三)

大浦 誠士